

【山陽小野田市】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

学校・保護者・地域・関係機関が連携し、防災について学ぶとともに、防災訓練や避難所生活を想定した宿泊訓練、救急救命訓練等を含む総合的な体験学習を実施し、児童生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。



実施内容

- 1 実施日時：令和元年8月22日（木）・23日（金）
- 2 実施場所：山陽小野田市立須恵小学校
- 3 参加者：小野田中学校生徒4名、須恵小学校児童22名、地域防災士2名、自治会長2名、保護者20名、市社会福祉課職員2名、市総務課危機管理室職員2名、小野田中学校教職員5名、須恵小学校教職員5名、市教育委員会2名、県教育委員会1名

4 プログラム

【1日目】8月22日（木）

13:00	14:00	14:30	15:15	16:00	17:00	18:00	19:00	20:10	22:00	
避難訓練	避難所受入れ	オリエンテーション	防災授業① 「下関地方気象台の方から学ぼう」 ～プロから学ぶお天気防災～	防災授業② 「危機管理室の方から学ぼう」 ～山陽小野田市で起こった災害について～	防災活動① 避難所で使えるランタンを作ろう～LEDライトとペットボトルでランタンづくり～	給水活動 「本物の給水車から水をくんで準備しよう」	夕食準備・夕食	熟議① 「避難所生活で小中学生でもできること」	段ボールベッド作り	就寝

【2日目】8月23日（金）

6:00	6:30	8:00	9:00	10:30	11:15	11:30
起床	ラ朝 ジ オ 体 操 食	防災クイズに挑戦して、知識を増やそう	防災活動② 3つの体験をしてみよう ・救命救急活動 ・車いす、高齢者体験 ・担架づくり	熟議② 「2日間ですべてのことを全員で話し合おう。」	閉会行事	引き渡し訓練 ・須恵小学校の引渡し訓練要領に沿って実施 ・保護者の方も参加

5 活動の様子

1日目

《避難訓練：指導 山陽小野田市危機管理室職員》

地震発生！かなり大きな揺れが山陽小野田市須恵小学校に感じられました。シェイクアウト訓練を実施しました。防災士の方と危機管理室の方がわかりやすく避難の方法を教えてくださいました。



〈頭を守る！〉〈低く！〉〈動かない！〉

〈地域の避難所須恵小学校に到着〉

《避難所受入れ：担当 山陽小野田市社会福祉課職員》

避難所受入れでは、本物の避難所のルール通りに受付を行いました。実際に市が使う本物の記録用紙に記入しました。



〈荷物をまとめます〉



〈社会福祉課の方による受付〉



〈本物の記録用紙を使用〉

《オリエンテーション》



〈日程の説明のあと、2日間をいっしょに過ごすグループで自己紹介を行いました〉

《防災授業①》

下関地方気象台気象情報官の上田真二さんをお迎えして、天候のしくみ、台風のでき方、豪雨が発生するわけなどを、スライドを使ってわかりやすく教えていただきました。



〈天候の仕組みを知る〉



〈真剣に聞き入っています〉



〈台風の仕組みを解説〉

《防災授業②》

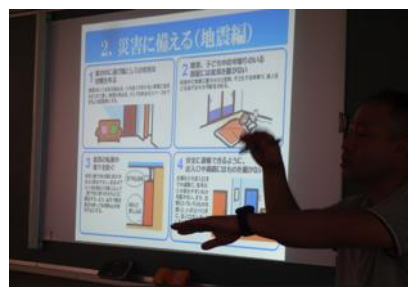
山陽小野田市総務課危機管理室の青木さんが、山陽小野田市で起こった災害について、わかりやすく説明をしてくださいました。「ここ知ってる!」「〇〇の近くだ!」と子どもたちから声が上がっていました。



〈実際の災害現場の写真を紹介〉



〈知っていることを発表します〉



〈地震に対する備えについて〉

《防災活動①》

避難所で使えるランタンをみんなで作りしました。LEDライトを組立て、ペットボトル2本をうまく組み合わせて、きらきらと光る明るいランタンができあがりました。



〈説明をよく聞いて作ります〉



〈うまくできました〉



〈26人全員完成です〉

《給水活動・夕食》

本物の給水車が学校にやってきました。大きなタンクからはきれいな水が供給されました。非常用のタンクにみんなで力を合わせて入れて、決められた場所へ持っていきました。夕食は、アルファ化米とカレーで非常食をいただきました。



〈水道局から給水車到着〉



〈自分たちで運びます〉



〈非常食カレー〉



〈みんなでいただきます〉

《熟議①》

「避難所生活で小中学生にもできること」を4つのグループで話し合いました。中学生のリーダーを中心に、今日学習したことを思い出しながら、自分たちの力で熟議を進めることができました。



〈自分たちの力で、話し合いを進めていきます ホワイトボードにより考えが集まりました〉

《段ボールベッド作り》

防災士の方から、熊本地震での避難所生活の講話を聞いたあと、全員で段ボールを使ったベッド作りをしました。運ぶことから並べることに、少しでも居心地よく、互いに思いやることのできるような寝室ができあがりました。ランタンを使って、静かな避難所生活の夜を明るくしてみました。



〈大きなダンボールを運びます〉



〈丁寧に作っていきます〉



〈ランタンが灯りました〉

2日目

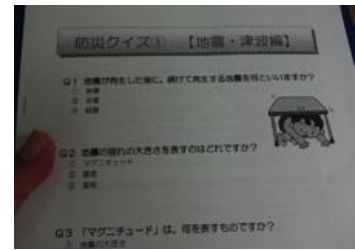
《起床 ラジオ体操 朝食 防災クイズ》



〈ラジオ体操〉



〈アルファ化米の非常食をいただきます〉



〈地震と津波の防災クイズ〉

《防災活動②》

防災士の方による担架づくり、小野田消防署の方による救急救命講習、社会福祉課の方による高齢者体験と車椅子体験。子どもたちは3丁場を順に回って、様々な命を大切にするための学習をしました。



〈担架づくり〉



〈心肺蘇生法を学ぶ〉



〈車椅子体験〉

《熟議② 閉会行事 引き渡し訓練》

熟議②では、ワークシートを使い2日間で学んだことをまとめ、みんなで話し合いました。小野田中学校・須恵小学校の校長先生から、2日間学びについて講評をいただきました。



〈2日間で学んだことを振り返ります〉



〈中学校の校長先生から〉



〈小学校の校長先生から〉

《引き渡し訓練》

保護者の方と一緒に、引き渡し訓練を行いました。須恵小学校の引渡し訓練要領に沿って行いました。



〈5年6年中学生の受付〉



〈一人ひとり確認して引き渡します〉



〈2日間のプログラム終了〉



【児童・生徒の感想から】

- 避難所では、自分にできることは自分でやろうと思うようになりました。(5年)
- 防災活動②を体験して、今後人の役に立つことをしたいと思いました。救急救命を学んで人を助けたり、担架を作って運んだり、車いすの人の手助けをしたりしたいです。(5年)
- 今まで私は大きな災害にあったことがありません。だからこのキャンプに参加しようと思いました。この体験をとおして、避難所の方の気持ちがよく分かりました。もし、避難所生活をするようになったら、この体験を生かしていきたいです。(5年)
- 災害が起きたとき、どのようにして避難したらいいかが分かりました。避難所では、お年寄りにどういことをしてあげたらいいかを身につけることができました。(5年)
- 熟議でいろいろ話し合えました。避難所生活でできることはやっていきたいです。(5年)
- 地震が発生したときのシェイクアウト訓練は、実際にできることなので大切な訓練だと思いました。(5年)
- 災害はいつくるかわかりません。この防災キャンプを体験して、いつでも避難できるようになったと思います。6年生になってまたこのキャンプがあったら、もう一度体験したいです。(5年)
- 防災キャンプに来て、とても楽しく、学ぶこともできました。段ボールベッドをつくって、とてもよく寝ることができました。心臓マッサージの仕方や車いすの使い方、けがをした人の運び方を学ぶことができました。子どもたちだけでもいろいろなことができるのだと分かりました。この経験が生かsetらいいなと思いました。(5年)
- 熟議をしてみて、自分たちにもいっぱいできることがあるのだと気づきました。本当の災害が起きて避難した時に、この経験をいかしたいです。(5年)
- 地震や津波で避難してきた人の気持ちがよくわかりました。2日間、みんなと助け合いながら活動できました。自分たちでごはんや段ボールベッドを作ってみて楽しかったです。避難することは大切なことで、防災活動②をやってみて、少し難しかったけれど、体験できて良かったです。自分の決めていた目標を守ることができたので良かったです。(5年)
- 実際に避難することがあったら、近所の人と助け合って命を守りたいです。(6年)
- 防災活動②を体験して、お年寄りがふだんどんな生活をしているのかがよく分かりました。すごく苦勞されているなと思いました。もし人が倒れていたら、自分で心臓マッサージをしたり、運んだりできるようになったので、とても良い体験になりました。(6年)
- 地震が本当に起こったら、まずは頭を守りたいです。避難生活になったら、今日学んだこと、身につけたことを生かしていきたいです。(6年)
- 避難所に行ったら、「お客さんじゃないぞ。」ということのをわきまえたいです。(6年)
- 防災キャンプがとても楽しみでした。この訓練でいろいろなことが分かったので、帰ったら親に話して聞かせようと思います。(6年)
- この2日間の体験で、普段からの心構えが大切だと思いました。決して大きな災害は起こらないと思込まず、これからも防災に対する意識を強めていきたいです。(6年)
- 自分のきめた目当て「防災キャンプで学んだことを覚えておくこと」をひっしでがんばりました。(6年)
- いろいろと学べて意味のある2日間だったと思う。もし災害が起きたら、この1泊2日の防災キャンプのことを思い出して、自分に何ができるか考えて行動したいと思った。(中学生)
- 熟議をしてみて、自分が思いつかなかったことを話し合えたので良かった。避難所では、自分だけでなく、他の人のことも考えて行動することが大切だと学びました。(中学生)

「ひな人生活で小・中学生にできること」^B

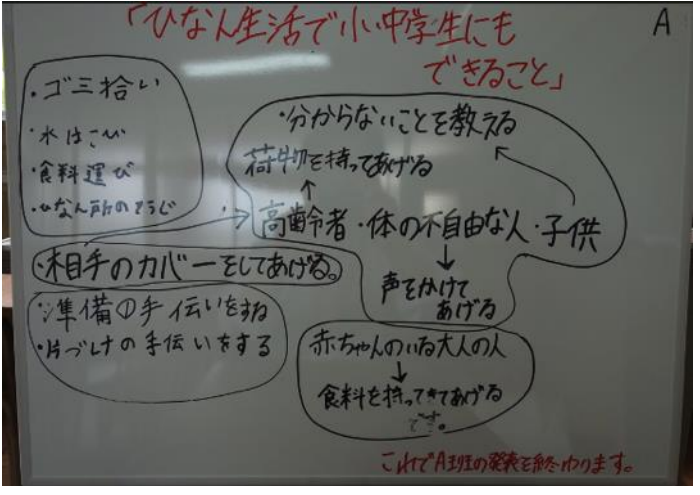
- 水運び小さい子のお世話
- ご飯作り(片づけ・お年寄りのお世話)
- くうじ(トイレ)
- ゴミ拾い(1人1回)
- 困っている人を助ける
- 先生の手伝い自分から進んで
- 自己紹介を手伝う
- わがまま言わない

「避難生活で小・中学生にできること」^C

- ★困っている人(高年齢者・妊婦さん・小さい子ども連れ)のお手伝い。
↳荷物を持つ(重い水、ゴミ集め)
- ★ご飯が足りなかったら分け合う
- ★掃除をする(トイレ・げんかんなど)
- ★楽しいこと(子ども→絵本を読む、大人→かたもみなど)
- ★笑顔であいさつ

「ひな人生活で小・中学生にもできること」^D

- 助け合う→けんがをしなない、食べ物のもんくを言わない
- 清掃を行う→汚れている所を見つけたら自主的に掃除をする
- 困っている人がいたら手伝う→食べ物や水を持って行ってあげる
- 列にわりこみしない
- お手伝いをする→さらし洗いを



〔熟議で話し合ったこと 子どもたちが一生懸命考えました〕